

Chapter 5 Microfinance

本文解析 (教科書 p.56) 主な記号: <副詞句 (節)> [名詞句 (節)] (形容詞句 (節))

Introduction

1 Money may not hang from trees, **but** it can grow.

↓ 具体的説明

Microfinance **enables** people **to escape** a cycle of poverty.  
S V O S + enable + O + to do [SはOが~することを可能にする] → [SのおかげでOは~することができる]

It gives them loans (to start a trade or business) and savings accounts (to earn interest).

By working (at the ground level of poverty), microfinance plants seeds (of a better future).  
by doing [~することによって]

Body

2 The idea (behind microfinance) is simple:

↓ 具体的説明

[offering basic financial services (to poor people)], **instead of** [offering donations], **can enable them to lift themselves** (out of poverty). Micro-loans, (usually in amounts under \$200 U.S.), **give people the chance** (to start a small business).  
S V O instead of doing [~する代わりに] S + enable + O + to do V O O

↓ 具体的説明

例①

A woman (who lives (in an isolated village in the Philippines)), **for instance**, may take out a loan (to buy a cell-phone). **Then** she will rent out her phone (on a per call basis).  
例示 順序 on ~ basis [~に応じて, ~の方式で]

例②

A woman (in Bangladesh), **meanwhile**, may take out a \$40 loan (to start up a small trade business). She will spend the money (to buy dried fish, nuts, and chocolates) **and** (to pay for her bus fare (to travel to various towns)).  
対比 句と句をつなぐ

3 Microfinance programs **also provide** people **with** other basic financial services (that they need (to grow their money)).  
追加 provide A with B [AにBを供給する]

↓ 具体的説明

For example, they provide savings accounts (so that people can safely store their money and earn interest (over time)). They **also** offer insurance (so that sudden accidents do not mean family ruin).  
例示 so that S can do [Sが~できるように] 句と句をつなぐ 追加 so that S do [does] not do [Sが~しないように]

本文の文構造の解析と、ストーリー展開を示した資料です。pdfデータでご用意しました。

⑤ Chapter 5 マイクロファイナンス

本文全訳 (教科書 p.56)

序論

1 お金は木にならないかもしれませんが、増やすことはできます。

↓【具体的説明】

マイクロファイナンスのおかげで、人々は貧困の循環を免れることができます。マイクロファイナンスによって、人々は商売や事業を始めるローンや、利息を生む預金口座を手に入れます。貧困の最下層で機能することによって、マイクロファイナンスは明るい未来の種をまいているのです。

本論

2 マイクロファイナンスの背後にある考え方は単純です。

↓【具体的説明】

貧しい人々に寄付金を与える代わりに、基本的な金融サービスを与えることで、彼ら自身が貧困から這い上がるようにすることができます。通常 200 アメリカドル未満の小口融資は、人々に小さな事業を始める機会を与えます。

例①

↓【具体的説明】

例えば、フィリピンの離村に住む女性は携帯電話を買うためのローンを組むかもしれません。それから彼女は携帯電話を通話ごとに貸し出すでしょう。

例②

一方、バングラデシュの女性は小さな商売を始めるための 40 ドルのローンを組むかもしれません。彼女はそのお金を魚の干物やナッツ、チョコレートをかうのに使い、様々な町へ移動するためのバス料金を払うのに使おうでしょう。

3 マイクロファイナンスのプログラムはまた、お金を増やすのに必要な他の基本的な金融サービスを人々に提供します。

↓【具体的説明】

例えば、人々が安全にお金を蓄え、やがて利息を得られるように、預金口座を開けるようにします。さらに、急なアクシデントで家族が立ち行かなくなることがないように、保険に入ることができるのです。

本文の訳例や、Comprehension など教科書中の問題の解答も収録しております。

解答 (教科書 p.57)

Comprehension

① ③ ② 1. ② 2. ③

③ 1. poverty 2. business 3. savings 4. accounts 5. interest 6. insurance

One More Step

True or False?

1. F 2. T 3. T

Q1 people

Q2 Microfinance programs

Skill Check

Q1 フィリピンの女性とバングラデシュの女性

Q2 第3パラグラフ3行目の結果：自分のお金を安全に保管し、利子を稼ぐことができる。

下から3行目の結果：突然のアクシデントでも家族が立ち行かなくなることがない。